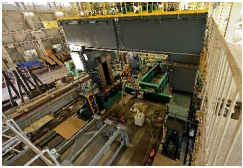
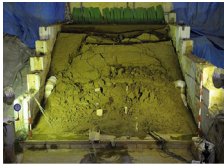


見学可能な主な研究施設一覧

令和8年8月時点

No	施設	外観	概要	関連分野 キーワード	担当部署
1	30MN大型構造部材万能試験機		国内最大の万能試験機です。低サイクルの繰返し載荷もできます。	橋梁、構造	橋梁構造研究グループ
2	輪荷重走行試験機 1号機・2号機		鉛直荷重を水平方向に移動させながら載荷できる試験機です。	橋梁、構造	橋梁構造研究グループ
3	大型遠心力載荷試験装置		地盤・土構造物・基礎構造物・建築などの1/N倍の縮尺模型にN倍の遠心加速度を作用させ、実物大実験に近い結果を得ます。遠心力実験中に加振（模擬地震）もできます。	地盤	地質・地盤研究グループ 土質・振動チーム
4	三次元大型振動台装置		大規模な地震動（例：阪神淡路大震災）が再現可能な振動実験装置で、テーブル寸法は8m×8mです。	地盤、構造	地質・地盤研究グループ 土質・振動チーム
5	舗装走行実験場		1周870m（大ループ）の試験路に実舗装を施し、大型トラック自動走行させ、舗装耐久性試験をする施設です。	道路	道路技術研究グループ 舗装チーム
6	トンネル覆工載荷装置 （構造力学実験棟内）		水平面が半円形のピット構造の反力壁があり、円の中心に向かって多点載荷試験ができる装置です。	道路、トンネル	道路技術研究グループ トンネルチーム
7	水理実験施設 （本棟、別棟）		低揚程の多数のポンプがあり、単独又は複合運転し、平行して幾つものダム模型実験を行っています。開水路実験に適した屋内実験施設です。	河川、ダム、水理	河道保全研究グループ 水工チーム
8	臨床研究用撤去部材保管施設		全国で架け替え・撤去された橋の一部を収集し、保管しています。32橋分の部材を保管しており、実際に発生した様々な劣化や損傷を見ることができます。	橋梁	橋梁構造研究グループ

9	1000kN疲労試験機		鉛直・水平の2方向同時載荷のできる疲労試験機で、供試体やアクチュエータの取付自由度が高く、比較的高速で試験ができます。	橋梁、構造	橋梁構造研究グループ
10	大型構造物繰返し載荷試験装置		鉛直・水平の2方向同時繰返し載荷ができる試験機です。	橋梁、構造	橋梁構造研究グループ
11	門型構造物繰返し載荷装置		構造物の繰返し載荷試験ができる装置です。	橋梁、構造	橋梁構造研究グループ
12	部材耐震強度実験施設		動的な繰返し負荷を受ける構造部材の変形特性を模型実験により解明する施設です。ピットの壁・床が耐力構造となっており、任意箇所にアクチュエータを取付け、動的載荷ができます。	橋梁、構造	橋梁構造研究グループ
13	盛土実験施設 (降雨装置付き大型実験土嚢)		建設機械が自走で入れる大型地下ピットと降雨装置などで構成される屋内実験施設です。	地盤	地質・地盤研究グループ 土質・振動チーム
14	FWD検定施設		FWDの「変位計」と「荷重計」を校正・検定するための施設です。変位計を校正・検定するためのアスファルト舗装とコンクリート舗装、荷重計を校正・検定するためのコンクリート舗装が設置されています。	道路	道路技術研究グループ 舗装チーム
15	建設機械屋外実験場 (建設DX実験フィールド)		各種建設機械の環境対策、操作性・安全性の向上などについて実際の機械を用いた試験が行えます。無人化施工・自律施工等の研究開発・実験のためフィールド部分が拡張され、2021年度より「建設DX実験フィールド」との呼称が付けられています。	DX	技術推進本部 先端技術チーム